

## 林野庁長官賞

### 内装用部材の高度加工システムへの取り組み

健康住宅志向高まり消費者に対応し供給

天竜ウッドヴィレッジ協同組合（代表者 理事長 伊藤 公雄）

#### □事業体の構成

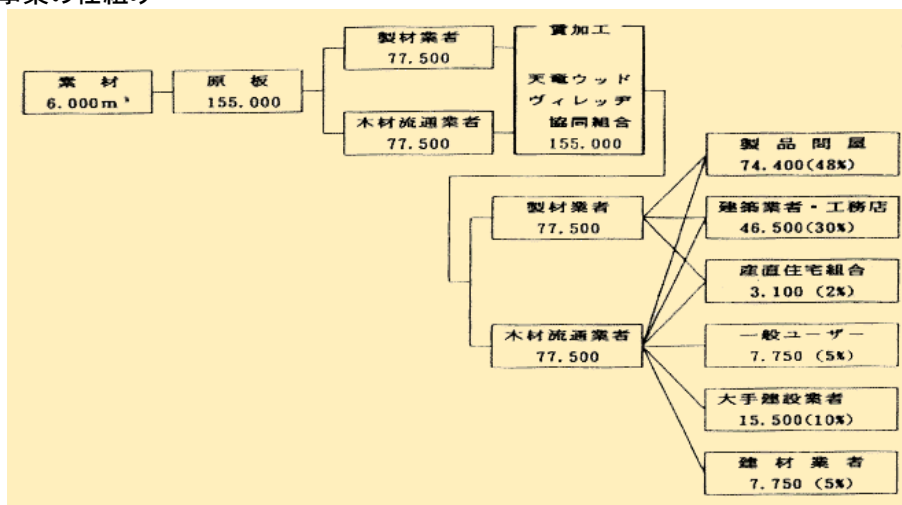
流域内製材業者（9社）、流域内流通加工業者（1社）流域外（東京）流通業者（1社）

〒431-3303 静岡県天竜市山東2372

TEL 0539-25-2772 FAX 0539-25-2773



#### □事業の仕組み



## 1 地域の概要

当事業体の位置する天竜地域は、スギ材を中心とした古くからの林業地であり、林業・林産業が基幹産業となってきた。また、8万haに及ぶ民有人工林資源は、年々充実しつつあり、特にスギ中目材の有効活用が重要な課題となっている。このようなことを背景として、昭和59年以降木材の二次加工施設として、高能率製材機械や住宅構造用材プレカット加工施設、集成材加工施設等が導入され、木材供給基地としての体制が整備されてきたところであるが、近年の林業・林産業が低迷する中、より高品質・低コストの住宅用部材の生産供給体制が求められている。

## 2 事業内容等

### (1) 事業の目的

地域材を用いた低コスト・高品質住宅用内装部材の供給を目的とする。

### (2) 事業の内容

①スギ中目材を用いた低コスト・高付加価値

加工製品の共同加工・共同販売

②一般内装用部材の共同加工・共同販売

③建築部材の高度乾燥

④天竜材の高度利用手法の検討並びに商品開発

(3) 施設の整備状況

①加工棟 2棟 (規模: 第一加工棟 803㎡ 第二加工棟 498㎡)

②導入設備

熱圧・UV塗装システム1式 (処理速度 8m/分)、6軸モルダー 2基、4軸モルダー 2基、

三面プレーナー 1基、蒸気式木材乾燥装置 (精油トラップ付き) 2室、超仕上げカンナ盤 4基、

羽柄加工機 1基、クロスカットソー 1基、自動結束機 1基、自動節埋装置 1基、フォークリフト 1台

(4) 事業の実績

(単位: ㎡)

種別	平成6年度	平成7年度	平成8年度	うち熱圧処理材
床材	32,000	43,500	46,500	15,000
壁材	63,000	87,000	96,800	18,000
造作材	16,000	14,500	12,500	22,000
計	111,000	145,000	155,800	55,000

(5) 事業の成果 (事業体の評価)

当事業体は、地域材の板類加工をより高度化し、高付加価値製品を生産する目的で発足した協同組合である。モルダーによる内装材の質加工に加え、熱処理と硬化塗装により木材の質感を損なわず表面を硬化させた住宅用内装部材 (商品名=セダーハード) の生産販売を事業の主軸としており、操業開始当初からの積極的なPRの展開などにより、順調な生産の伸びをみせている。また、近年、健康住宅志向により、自然素材に対する消費者の関心が高まりつつあることから、これらに的確に対応した住宅用建築資材の供給に向け、高度利用技術の検討に取り組んでいる。

(6) 今後の取り組み

①スギ板材の外壁用部材開発と商品化

耐候性・防火性・寸法安定性・施工性・意匠性等機能性を高めた新たなスギ板材の外壁用部材新商品の開発を行う。

②内装材のパネル化

健康住宅志向を視野に入れ、接着剤を使用することなく施工性を高めたパネル化を推進する。

③エクステリア部門における木材製品の復興

自然と向き合う新たな生活空間の創出に向け新たな商品開発を行なう。